



堺市訪問型病児保育センターだより

2020年度3号

みかん新聞



サポート会員からのエピソード

寒い毎日、感染症など、気になる季節です。人は、病気をしながら大きくなっていくものだとはわかっていても、子どもには元気でいてもらいたい、病気は大変だ！と思いますよね。子どもが病気のとき、親自身が病気のときに、子育ての負担感は増すように思われます。そんなときこそ助けあえる環境がほしいですね。堺市訪問型病児保育センターには、「病気のときによりそえる仲間」がいます。



嘔吐・下痢で汚れたら

便・嘔吐物の処理



①出来るだけ使い捨ての手袋、マスクを着用し、窓を開けて喚起をしましょう。



②便、嘔吐物をペーパータオルで取り除きビニール袋へ入れる。



③残った便・嘔吐物の上にペーパータオルをかぶせ、その上から塩素系漂白剤（ハイターなど）を薄めた消毒液を十分浸るように注ぎ汚染場所を広げないようにペーパータオルでよく拭き取る。

④ウィルスは乾燥すると空気中に漂い、これが口の中に入り、感染することがあるので、便や嘔吐物をすばやくビニール袋の中に入れ密封して、捨てます。この時使用した手袋マスクも一緒に入れます。



⑤しっかり手洗いをしてください。
※カーペットなど、色落ちする場合は、塩素系漂白剤を使用せず、便・嘔吐物をぬぐい取り、何度も水拭きした後アイロンのスチームを1分以上あててください。



毎月登録会をしています。

登録説明の間、子どもの保育もあります。
詳しい内容は、ホームページをご覧ください。



堺市訪問型病児保育センターで検索

処理用の消毒液の作り方

500mlのペットボトルを用意する

↓
ペットボトルキャップ2杯（10ml）に塩素系漂白剤（ハイターなど）を混ぜる

※間違って飲んでしまわないように『消毒液』と明記しましょう。効果が薄れるので一日で捨てましょう。

* 堀市訪問型病児保育センター *

〒590-0079
堺市堺区新町2番4号 小山電携ビル2階B号室
TEL072-228-7668 FAX 070-1742-6888
HP <http://yurikagonetwork.com/houmon/> メール houmon@yurikagonetwork.com